

# 令和4年度 第3回 都留市総合教育会議 議事録（概要）

日時： 令和5年3月28日（火）午後1時30分～2時30分  
場所： 都留市役所2階 市長公室  
出席者： 小林教育長、三枝委員、小俣委員、村上委員、小笠原委員、  
弓指委員、市長、総務部長、参与、企画課長、教育次長、  
学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐、  
企画課長補佐、ふるさと納税戦略室室長、企画担当リーダー、  
企画担当

## 1 報告

### 報告(1) 令和5年度 教育関連予算について

#### ▶資料(1) 令和5年度当初予算概要書(教育予算)

(企画課長)

- ・令和5年度一般会計当初予算額は、161億1600万円で、対前年度比8億2千万円の増加である。そのうち9款、教育費につきましては、32億3957万8千円、対前年度比3億2990万4千円の増加である。
- ・子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため「学校給食費の無償化」を令和5年度より実施する。なお、「給食費の無償化」をはじめ、子育て環境及び教育の充実化を図る事業の財源を継続的に確保していくため、今年度、新たに都留市子ども未来創造基金を創設した。
- ・「まなびの未来づくり事業」として事業費4千568万9千円を予算化した。
- ・「オンライン学習通信費の援助」として、就学援助世帯の経済的負担軽減のため、オンライン学習通信費を255万6千円追加し、児童・生徒の学習機会を保障する。
- ・児童・生徒に安全安心でおいしい給食を安定的に供給するため、「学校給食調理及び配送等業務委託」、事業費1億1074万8千円を予算化した。
- ・小中学校適正規模・適正配置事業」として、952万9千円を予算化し、禾生第一小学校と旭小学校の統合による通学バスの増便を実施する。
- ・「小中学校トイレ改修事業」として事業費2億1115万5千円を予算化し、東桂小学校及び禾生第一小学校の改修工事と都留第二中学校の改修設計業務を実施する。
- ・「小中学校特別教室等空調設備設置事業」として、事業費2832万円を予算化し、各小中学校からの設置要望に基づき優先順位の高い教室に空調設備を設置する。
- ・「インターナショナルセーフスクール事業」、事業費48万7千円として、谷村第一小学校及び都留第二中学校において、安全・安心な学校の実現に向け、ISSの取組を実践する。
- ・「うぐいすホール特定天井及び照明施設改修事業」として、事業費2億3486万1千円を予算化し、大ホール特定天井の耐震化及び客席照明設備のLED工事を行う。
- ・中学校部活動の地域移行に向け、「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」として事業費111万円を予算化する。
- ・貴重な文化財である商家資料館建物を後世に残していくため、改修に向けた計画策定と調査業務を実施するものとして、86万7千円を予算化した。

▶【詳細は会議資料の通り】

## 【主な意見】

(小笠原委員)

特別教室へのエアコン設置について感謝申し上げます。また、この度の給食費の無償化について、令和4年度に学校給食費の公会計化により教頭の給食費事務の負担軽減を図っていただいているが、それに加え保護者負担の軽減も図っていただき感謝申し上げます。

なお、給食費無償化の財源についてご教示いただきたい。

(総務部長)

事業費の約1億1千万円の内、5千万円をふるさと応援基金を財源とし、残りを子ども未来創設基金から充当することとしている。今後は、一般会計の決算剰余金を優先的に子ども未来創設基金に積み増ししていくことにより、財源の維持を図っていく。

(市長)

これまで本市が取り組んできた生涯活躍のまち単独居住プロジェクトによる税収増、また今後の企業誘致の促進により財源が期待できる。誘致後、5年間は固定資産税の軽減措置の対象となるが、軽減措置が終了した後は、そうした税収も見込める予定である。

## 【その他意見】

(市長)

本日、都留文科大学新棟の竣工式があり施設の見学を行った。本施設の位置づけとして大学施設ではあるが、地域にも広く活用いただけるものとなっている。また、3Dプリンター、VRの活用など新たな学びの教材が整備されている。都留文科大学は中期目標として地域貢献を挙げており、今後、より一層の教育面における地域への還元が期待でき、本市の探究型学習の活用にも期待できる。

(教育長)

教育支援センターのセンター長とも話をしたが、小学校の子供に来てほしいと話していた。小学校の探究力をつける観点からも活用が望ましい。

(村上委員)

旧南都留合同庁舎が見違える姿になった。児童の一人用机やVR等、たくさん子どもたちに活用いただきたい。

(市長)

大学教諭と市民に触れ合う場としても期待できる。

上谷交流センター(NICOT)の周辺にも大学の施設ができる予定か。また、市民交流にも活用できる予定か。

(企画課長)

地域交流研究センターの本部のような位置づけで整備を予定している。市民にも交流いただく場となる見込み。

(三枝委員)

昨今、子どもたちの学びの環境も変わっており、興味を持ってもらうのが学びの原点となると思う。

## 報告(2)

### ▶ 資料(2)令和5年度都留市学校教育の指針について

(教育長)

- ・来年度の学校教育の指針における5つの項目における来年度からの新たな方向性をお示ししたい。まず、「1.確かな学力と自立する力の育成」、全国学力・学習状況調査の結果、県学力平均より低い結果となっている。学力テストを実施した学年に限定されているものか、学校全体の課題か、風通しを良くしていきながら、全校体制での課題として解決を図っていききたい。
- ・「2.豊かな心と自己実現を図る力の育成」については、昨年度まで新型コロナウイルス感染症の偏見差別が生じない支援体制を指針にうたっていたが、状況の改善があるため、来年度からは、昨今課題となっているヤングケアラーの早期発見。状況改善を行い、関係機関との連携に向けて児童生徒を支援するものとしている。
- ・「3.健やかな体の育成」においては、インターナショナルスクール(ISS)の実現に向けて、谷村第一小学校・都留第二中学校をモデル校として実施し、将来的には全校で取り組んでいきたい。
- ・その他、「4.グローバルな社会を生き抜く力の育成」「5.特別支援教育の充実」を含め、校長会では、各学校において、令和5年度の具体的な目標を立てていただきたいと話をさせていただいたところである。

### ➤【詳細は会議資料の通り】

## 報告(3)

### ▶ その他(教育委員会事務局のぴゅあ富士への移転について)

(教育次長)

再来年度より教育委員会の事務局をぴゅあ富士へ移転することとしている。ぴゅあ富士は今年度末で閉館となり、外壁、空調、エレベータ等の大規模な改修を県が実施したのち、無償で譲渡することになっている。1階フロアには教育委員会事務局が入るため、令和5年度中の改修工事を実施し、年度末には移転を行う予定である。また、教育研修支援センターも同フロアに集約する。同施設と隣接するまちづくり交流センターと併せ、教育施設の物理的な距離が縮まることで、教育委員会各部局間の活発な連携が期待できる。

なお、2階のレクリエーション室、茶華道室、3階の大・小研修室は教育委員会でそのまま管理するが、2階の現調理室・図書室・工芸・美術室は、県が男女共同参画推進を行う場として貸付を図る。

(市長)

1階の託児所については県が継続して活用するのか。

(教育次長)

託児室として県が運営する予定である。

(総務部長)

駐車場については、周辺土地を用意する予定。市民の方の車両も今より多く駐車できるようになる見込みである。

(教育次長)

令和5年度について、県の男女共同参画推進の取組は、ふるさと会館の2

階にある旧増田誠美術館の展示フロアを活用するものとしている。

## 2 その他

その他(1) 都留まなびの未来づくり推進機構 活動報告・今後の方向性について  
▶資料(3) 都留まなびの未来づくり推進機構 活動報告・今後の方向性について  
(参与)

令和5年度に一般社団法人都留まなびの未来づくり推進機構を設立し、子どもたちが探究型学習を行う学び場や効果測定の研究を進めていくものとしている。

令和4年度は法人設立と併せて、法人メンバーの方向性を合わせるのための視察や、機構の周知を想定したスタートアップイベントをいくつか実施したところである。

本取組を市の取組と差別化し、今後も充実化していきたい。

▶【詳細は会議資料の通り】

---

## 4. 閉会